

第四回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 会議録

1. 会議概要

(1) 開催日時：令和4年8月22日（月） 14：00～16：30

(2) 開催場所：千曲市役所 3階 301大会議室 AB

(3) 出席者

協議会委員：佐々木委員、小沼委員、北村（勝）委員、塚田委員、小林委員、
高村委員、早志委員、山崎委員、清水委員、
千曲建設事務所 長澤（徹）企画幹兼整備課長、
千曲川河川事務所 寺田副所長、
湯本建設部長、島田教育部長、栗原企画政策部長、宮尾健康福祉部長、
竹内市民環境部長

事務局：町田スポーツ振興課長、小山施設整備係長、中村スポーツ振興係長、
中村生活安全課長、中山市民生活係長、丑澤主事、
吉池都市計画課長、山本技幹兼計画係長、轟施設係長、池田主任、
まちづくりアドバイザー 松林氏、
信州地域デザインセンター 竹内氏、調氏、
株式会社KRC（小林、渡利、藤岡、東海林）

(4) 欠席者

協議会委員：林委員、瀬在委員、北村（早）委員、諸井委員、新井委員、児玉委員

(5) 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 議事
 - (1) これまでの経過
 - (2) 第四回協議会の位置づけと基本構想構成案の作成に向けての整理
 - (3) 千曲市総合運動公園基本構想の検討
 - (4) 今後の予定について
- 5 その他
- 6 閉会

(6) 提示資料

- ・ 第四回協議会 送付資料一覧表
- ・ 第四回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会次第

- ・総合運動公園構想策定協議会名簿（R4. 4. 1～）
- ・資料1 第3回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 会議録
- ・資料2 「スポーツを通じた地域活性化」に関する研修会 会議録
- ・資料3 先進地視察のまとめ
- ・資料4-1 第二回スポーツ施設部会 会議録
- ・資料4-2 第二回スポーツ施設部会ワークショップ意見まとめ
- ・資料5-1 第一回公園づくり部会まちづくり部会 会議録
- ・資料5-2 第一回公園づくり部会まちづくり部会ワークショップ意見まとめ
- ・資料6 基本構想策定までのフローと第四回の位置づけ
- ・資料7 エリア整備ごとの整備の方向性
- ・資料8 千曲市総合運動公園基本構想構成案
- ・資料9 千曲市総合運動公園基本構想策定スケジュール

2. 議事に関する質疑応答・意見交換

(1) これまでの経過

(資料1/資料2/資料3/資料4-1、4-2/資料5-1、5-2をもとに説明)

- ・質疑等なし

(2) 第四回協議会の位置づけと基本構想構成案の作成に向けての整理

<おもに戸倉体育館エリア別構想について（資料6、資料7のp1～4をもとに説明）>

清水委員：天皇杯の全日本バスケットボール選手権大会3次ラウンドがホワイトリングで10月末に開催され、出場10チーム200人の関係者と各チームのファンが長野県を訪れる。長野市に宿泊する方が多いと思うが、信州ブレイブウォリアーズのマザータウンである千曲市に宿泊したいというファンの方も少なからずいらっしゃる。天皇杯のような大きな大会を戸倉体育館エリアで開催できたら温泉街に宿泊される方を呼び込めるのではないかとということで、観客席やアリーナの検討をお願いしたい。千曲市の交流人口が増えて、盛り上がっていくことを希望している。

佐々木会長：共有ゾーンのイメージがわきにくい。具体的なイメージを教えてください。

→事務局：日常の利用、ある程度大会利用等を含めて対応できる駐車場が必要になってくるだろう。具体的な広さは施設等の規模によって決まるので、具体的な配置等はいまの段階では示していない。駐車場のほかにニーズとしてあった子どもの遊び場や憩いの場などが確保できるのかどうか、他のエリアで対応するのかは検討するポイントであるが、イメージとしては資料にあるようなものを想定している。

佐々木会長：スポーツ施設の周りに木陰がないと非常に厳しい。とくに夏の野球の応援は木陰がないと悲惨である。木陰ができそうなのはこのゾーンなのか。

→事務局：そうである。そういった緑地の確保、駐車場も単なるアスファルトではなく緑化駐車場にするのかなども考えていきたい。

宮尾委員 : 北側の敷地拡張の可能性のある民有地まで含めると、施設の規模・機能拡張や他の施設導入等の可能性は広がるとあるが、土地取得に関して現時点の状況を教えていただきたい。

→事務局 : まだ決まっていない。今後検討していく。

島田委員 : エリアのゾーニングで施設の種類と概ねの規模を想定したというなかで、例えば体育館の観客席数と市民利用確保のためのアリーナの面積、どちらの拡張を優先するのか今後検討が必要である。また、公共施設の管理計画のなかで総量は縮減となっているので、ここで大きなものをつくると必ずどこかの体育館は縮小することになる。

佐々木会長 : 基本構想でどこまで扱うのか。

→事務局 : 市民アンケートや協議会等の意見を踏まえながら基本構想の中でどういった示し方がよいのか、基本計画で示すのか総合的に検討していく。

小林副会長 : 戸倉体育館は耐震工事をするというので、既存の戸倉体育館を壊して新しい大きな体育館をつくることは現段階では考えにくい。体育館周辺の整備をするほうが現実的だと思う。より現実的な方向で考えていくということで、スポーツ施設よりは子どもの遊び場などの機能付加を検討したほうがよいのではないかと。

清水委員 : 戸倉体育館の非構造部材耐震化工事は構造物ではなく、非構造部材の耐震化でよいのか。

→事務局 : 体育館の耐震補強と非構造部材の耐震工事の両方の耐震化工事を行う。

清水委員 : 前回スポーツ協会の塚田委員の質問に対して、現在の戸倉体育館を使用されている方の安全のために耐震化を行うが、建て直しを行わないということではないと回答いただいたが、いかがか。

→事務局 : 現在利用されている方の安全確保のための耐震化工事である。建て直しを行わないということではない。

北村委員 : 将来的にはこういう体育館がほしいが、そこに至るまでは20~30年かかってもよいというような構想でよいと思っている。

佐々木会長 : 確かにそうした長期的な計画の事例はある。しかし耐震化はすぐにやらなくてはいけない。

<白鳥園エリア別構想について（資料7 p 5~6をもとに説明）>

佐々木会長 : PFIに関して民間事業者との意見交換をして、早急に進めていくということか。

→事務局 : 施設導入の検討がしやすいのは白鳥園エリアであるので、早急に進めていきたいと考えている。

北村委員 : コロナでなければ、芝生広場で以前のように子どもの祭り、チアリーディング、飲食などのたくさんのイベントができただろう。365日イベントが行われるようなイメージだと対岸の温泉利用者の呼び込みにもつながる。魅力創出ゾーンというのが、芝生広場との連携がなかなかイメージできない。多くの集客を得たとしても、現状の駐車

場で足りるのだろうか。魅力創出ゾーンを駐車場として扱うということもあり得るのではないか。

<河川敷エリア別構想について（資料7p7、8をもとに説明）>

寺田委員：エリアコンセプト（案）の「かわ・まち・ひとがつなぎ、にぎわいへといざなう清流の架け橋」は千曲川を活かす内容でよいと思った。現時点では難しい内容はないと思う。近隣の市町村でもかわまちづくりを推進している。かわまちづくりの制度を活用すれば長くないスパンで、地域のポテンシャルを活かしながら一緒に構想の実現を行なえと考えている。

宮尾委員：エリアコンセプトは格好よいが、橋ではなく河川敷をイメージできるような言葉のほうがよいのではないか。

→事務局：全体の川と、橋というイメージの両方が出ているので、大正橋や万葉橋があるので言葉を掛けて事務局ではイメージした。

小沼委員：温泉があり、川があり、日帰り温泉施設や公園があり、河川敷があり、スポーツエリアがあるなど特異性が高く、全国にもあまりないような地域であり、かつアクセスもよい。活用方法によっては色々な展開がみえてくると思う。信州千曲観光局（DMO（デスティネーション・マネジメント・オーガニゼーション））では、地域にどのように人を呼び込むか、目的地の仕組みづくりを行うことも必要になってくる。最終的には3つのエリアをまとめて一つの何かランドマークができると市民にわかりやすいのではないか。格好よいキャッチコピーがあるとよいのではないか。

佐々木会長：ぜひ格好よいキャッチコピーをお願いしたい。エリアコンセプト、施設整備方針の案は事務局説明とおりにしてよろしいか。

委員一同：了承。

<エリア間・周囲との連携のあり方と整備手法・維持管理手法の検討について（資料7 p 9～10をもとに説明）>

事務局：3つのエリア別構想に加えて、エリア同士をどのようにつなげていくか、地域の様々な魅力や環境特性とどうつないでいくかということも重要と捉え、基本構想の中でエリア間・周囲の連携のあり方を示していきたいと考えている。

また、整備手法を検討するなかで民間事業者との連携を考えている。サウンディングについてはすでに動き始めており、国交省や長野県主催のサウンディングの事業にそれぞれ申請中である。加えて、民間事業者から直接の問い合わせも来ている状況である。そうしたやり取りの意見徴収等を踏まえながら、この資料内容からさらに踏み込んでいき基本構想に反映していきたいと考えている。

・質疑等なし

（3）千曲市総合運動公園基本構想の検討

<構想案の構成について（資料8をもとに説明）>

事務局：構想案については、作成途中の段階で精査中である。さらに内容を検討調整していく。

佐々木会長：資料8についての質疑や意見等は電話かメールで各自、事務局に伝えていただくとい

うことでよろしいか。